アクアβスティック　販売開始

このたび、ＤＳウェルフーズでは、アクアβスティックの販売を開始しました。
今回の新製品は、イチゴ味のスティックで飲みやすいのが特長です。
「おなかの調子が気になる」「何となく体がだるい」「花粉が気になる」などと
感じられている方にお勧めします。楽天市場などで販売しています。

化学でもっといいこと。

DAISO ダイソー株式会社

Something Better with Chemicals

100TH
おかげさまで100周年

株主のみなさまへ

第160期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

化学でもっといいこと。

DAISO ダイソー株式会社

証券コード　4046　　http://www.daiso.co.jp/

代表取締役
社長執行役員
佐藤 存

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループでは、第160期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

当社は、今年創立100周年を迎えます。これを機に本年10月1日付けで商号を「株式会社大阪ソーダ」へ改め、当社創業時の精神である開発力を一層深化させ、独創的なものづくりのさらなる推進を図ってまいります。

さらに、次の100年の飛躍に向けて全社員が一丸となり、当社グループをより活力と革新力のあるグローバル企業としてダイナミックに進化させていく所存であります。

平成27年6月

第160期の業績概要

当期のわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、特に上半期の消費マインドの低下による個人消費の弱さが見られたことや海外景気の下振れ懸念等により、デフレからの脱却には至っておらず、ゼロ成長に近い状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画『NEXT FRONTIER−100』の初年度にあたり、「新製品・新規事業の創出」と「海外事業の拡大」を推進するため「新規事業推進プロジェクトチーム」および「海外事業推進プロジェクトチーム」を発足させ、事業の拡大と強化に取り組んでまいりました。さらに、事業構造の変化に適応するため「コスト構造改革プロジェクトチーム」を発足させ、コスト低減による競争力強化を図ってまいりました。

事業分野別では、ヘルスケア関連事業強化のため、医薬品精製材料、医薬品原薬・中間体の営業および研究開発等を一体運営体制に移行し、両事業のリソースを相互活用することによって、相乗効果の創出に注力しました。また、エピクロルヒドリンゴムを中心とする合成ゴム事業の川下展開および海外展開の強化を図るため、昨年12月に株式会社INBプランニングに出資し、既存用途の拡大および新規用途の開拓に両社協働で注力するとともに、合成ゴムおよびコンパウンド事業を起点にした海外生産拠点展開を推進する体制の構築に取り組んでまいりました。

基礎化学品では、クロール・アルカリの国内シェア拡大、エピクロルヒドリンの海外市場への拡販とともに、国内4工場においてエネルギー高効率化工事を実施するなど、コスト低減を推進してまいりました。

機能化学品では、ダップ樹脂やエピクロルヒドリンゴム等を、欧米・中国向け市場へ拡販するとともに、医薬品精製材料や医薬品原薬・中間体の新規顧客獲得を図ってまいりました。

住宅設備ほかでは、新素材などを用いた生活関連商品の販売を推進するとともに、エンジニアリング事業において化学プラントの新規受注獲得に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,013億6千5百万円と前期比10.6%の増加となりました。売上高1,000億円は、当社グループ100周年(平成27年度)の目標とし、積極的な事業展開を図ってまいりましたが、1年前倒しで達成することができました。

利益面におきましては、機能化学品事業の伸長およびコストダウンにより、営業利益は51億7千2百万円と前期比8.9%の増加、経常利益も57億4千7百万円と前期比9.7%増加、当期純利益も34億5千万円と前期比13.9%増加となり、各利益とも前年に引き続き、過去最高となりました。

なお、期末配当金につきましては、当期の業績と今後の事業展開を総合的に勘案するとともに安定的な配当継続性も考慮しました結果、4円とし、中間配当金の4円とあわせ、1株につき年間8円(前期7円)とさせていただきました。

今後の対処すべき課題

今後のわが国の経済見通しにつきましては、長期的には米国の量的緩和終了や欧州の財政問題による影響、新興国経済の景気下振れも懸念されますが、政府による景気対策や堅調な推移が予測される設備投資、雇用および所得環境の改善等により、総じて底堅い成長が継続するものと期待されます。

このような情勢のもと、平成27年度は、5ヵ年の中期経営計画『NEXT FRONTIER−100』の2年目にあたり、引き続き「新製品・新規事業の創出」と「海外事業の拡大」を成長エンジンとして、事業の拡大と強化に取り組んでまいります。新製品・新規事業につきましては、開発体制を刷新し、当社が強みを発揮できる領域を中心に、ライフサイエンス、エネルギー・環境、電子材料の分野で新製品の開発を推進してまいります。海外事業では、当社のコア事業である基礎化学品、機能化学品および商社部門であるダイソーケミカル株式会社を中心に強化し、海外事業の拡大に取り組んでまいります。

また、当社グループは、環境・安全と製品の品質の確保につきましても、レスポンシブル・ケア活動とISO活動を通じて万全を期すとともに、省資源・省エネルギー活動に積極的に取り組み、地球環境と調和した企業の発展を図ってまいります。

さらに、企業の社会的責任を重視し、日々の事業活動において法令遵守に積極的に取り組んでまいりますとともに内部統制システムを強化し、当社グループのコーポレート・ガバナンスのさらなる充実に努め、社会に信頼される企業グループを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

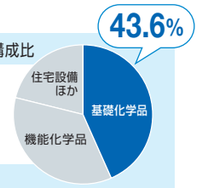
基礎化学品

クロール・アルカリは、原燃料価格上昇を背景として上半期に価格修正を実施し、国内需要も堅調に推移しましたので、売上高が増加しました。

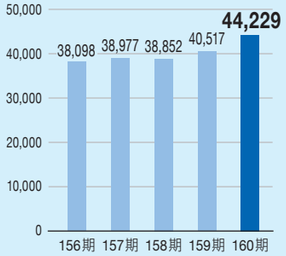
エピクロルヒドリンは、エポキシ樹脂向けなどの国内需要は低調であったものの、輸出が堅調に推移しましたので、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は、442億2千9百万円と前期比9.2%の増加となりました。

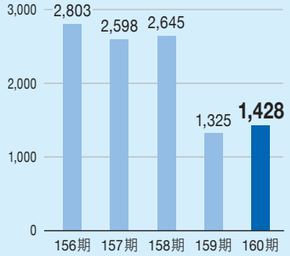
売上高 442億2千9百万円 9.2%増加



売上高(連結) (百万円)



営業利益(連結) (百万円)



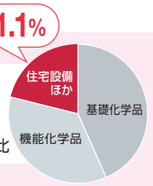
住宅設備ほか

化粧板などのダップ加工材は、住宅着工件数の落ち込みの影響で売上高は横這いとなりましたが、生活関連商品の販売が好調に推移したため、売上高が増加しました。

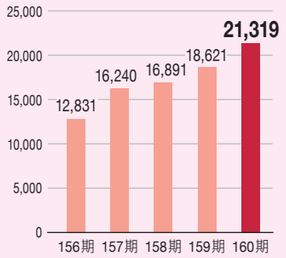
エンジニアリング事業は、国内外顧客の化学プラント増強。更新工事や電解設備更新工事等の完成により、売上高が増加しました。

以上の結果、住宅設備ほかの売上高は、213億1千9百万円と前期比14.5%の増加となりました。

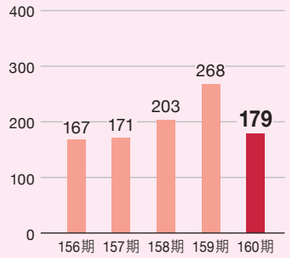
売上高 213億1千9百万円 14.5%増加



売上高(連結) (百万円)



営業利益(連結) (百万円)



機能化学品

アリルエーテル類は、シランカップリング剤用途の需要が、欧米・アジアを中心に堅調に推移しましたので、売上高が増加しました。

エピクロルヒドリンゴムは、中国・東南アジア等新興国市場での市場開拓の効果ならびに欧米・中国の自動車生産台数の増加により、輸出が堅調に推移したことから、売上高が増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途向けが国内および欧米向けで堅調に推移したため、売上高が増加しました。

医薬品精製材料は、欧米・アジア向けの輸出が好調に推移したため、売上高が増加しました。

医薬品原薬・中間体は、骨粗鬆症薬原薬や血流改善薬原薬、抗体医薬品原料等が好調に推移したほか、抗ウイルス薬中間体をはじめとする数多くの新規案件獲得の寄与もあり、売上高が増加しました。

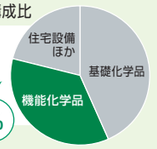
電極は、国内外鉄鋼メーカー向けの亜鉛めっき鋼板用電極の需要増加および新規酸洗設備用電極の受注を受け、売上高が増加しました。

液晶ディスプレイ用カラーレジストは、スマートフォンなど中小型ディスプレイ向けの需要が堅調に推移し、売上高が増加しました。

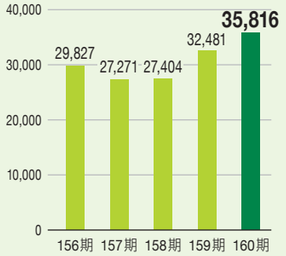
衛生材料向け吸水性樹脂および不織布は、中国における需要の高まりから販売が好調に推移し、売上高が増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は、358億1千6百万円と前期比10.3%の増加となりました。

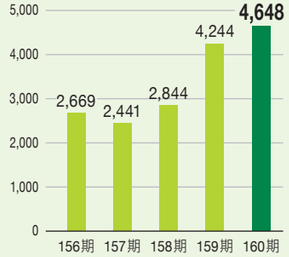
売上高 358億1千6百万円 10.3%増加



売上高(連結) (百万円)



営業利益(連結) (百万円)



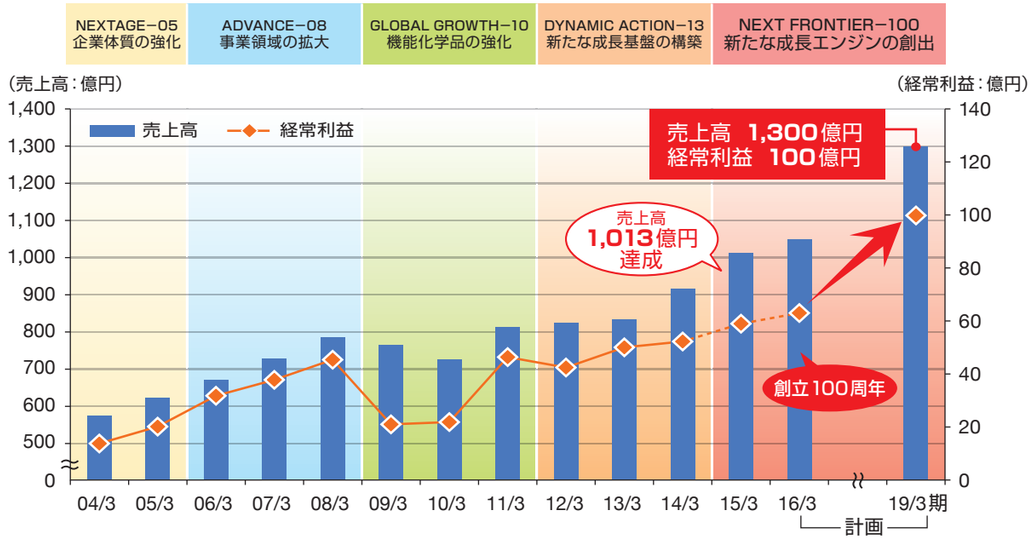
ダイソーグループのセグメントと主要製品

セグメント	主要製品
基礎化学品	かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、農薬原体、塗料原料、接着剤原料 など
機能化学品	アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、グラスファイバー、資源リサイクル など
住宅設備ほか	ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設 など

売上高
1,000億円
達成

売上高は1,000億円を突破。
今後は中期経営計画達成とさらなる成長に向け全力で取り組んでまいります。

当社グループの業績推移



おかげさまで、当社グループは2015年3月期において、売上高、利益とも最高値を更新することができました。なかでも売上高は5期連続で過去最高を更新し、初めて1,000億円を達成することができました。

売上高1,000億円は、当社グループが長期にわたり掲げてきた目標であり、創立100周年を迎える記念すべき年にこの目標を達成できたことは喜ばしい限りです。

今後は中期経営計画「NEXT FRONTIER-100」の推進により2019年3月期の売上高1,300億円、経常利益100億円の達成とさらなる成長に向け全力で取り組んでまいります。

グループ
企業理念
制定

当社は1915年の創業以来、今日まで当社グループが重んじてきた信条、創立100周年を契機として新たに目指すべき将来像を、当社グループ全社員で共有できる理念として2015年4月1日に制定いたしました。

高い志をもち 独創的なものづくりで
豊かな社会の実現に貢献します

高い志とは、全社員が心の中に常にもつべき信念であり、それによって向上心をもち続け、困難を乗り越える原動力となるべきものです。
高い志をもつことで、当社グループ創業時の開拓者としての精神を一層深化させ、独創的なものづくりによってスペシャリティケミカル分野でベストワンカンパニーを目指します。

100周年
ロゴ

当社グループ創立100周年をPRするため、2016年3月31日までの期間、ホームページ、駅看板などで積極的に100周年ロゴを活用してまいります。

100TH
おかげさまで100周年

2015年4月 東海道新幹線東京駅ホームに看板を掲出

特 集

100年の歩みと社名の変遷

塩の電気分解から発展してきた当社は「株式会社 大阪ソーダ」へ社名変更します。

1915年
「大阪曹達」設立

創立当時の本社所在地 宇治電ビル

1917年
小倉工場（福岡県北九州市）の操業を開始

小倉工場 250kW発電機

1931年
尼崎工場（兵庫県尼崎市）の操業を開始

尼崎工場

1915年
大阪曹達株式会社
関西の財界が中心となり、かせいソーダの製造販売を目的として資本金75万円にて大阪市に「大阪曹達株式会社」を設立

1940 1950 1970

1948年
東京支社を開設

1949年
大阪証券取引所市場第一部に株式上場

1952年
松山工場（愛媛県松山市）の操業を開始

松山工場

1953年
東京証券取引所市場第一部に株式上場

1956年
「大曹商事株式会社」を設立

1961年
研究センター（兵庫県尼崎市）を開設

研究センター

1962年
ダップ樹脂の製造開始

ダップモノマー製造設備

1968年
「岡山化成株式会社」を旭化成工業株式会社（現・旭化成ケミカルズ株式会社）と共同出資にて設立

1970年
・「大曹有機株式会社」を設立
・岡山化成株式会社水島工場の操業を開始

岡山化成

1971年
アリルクロライド、エピクロルヒドリンの製造開始

1975年
・「ダイソーエンジニアリング株式会社」を設立
・大曹有機株式会社を吸収合併し水島工場とする

水島工場

1978年
アリルグリシジルエーテルの製造開始

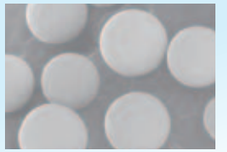
1979年
エピクロルヒドリンゴムの製造開始

1988年
ダイソー株式会社
エレクトロニクス、バイオや住設分野など将来の業容の拡大を想定し、ダイソー株式会社に社名変更

1990 2000

1990年
デュッセルドルフ事務所を開設

1992年
・液体クロマトグラフィー用シリカゲルの製造開始
・ポリスルフィド系シランカップリング剤「カプラス」の製造開始


シリカゲル顕微鏡写真

カプラス（省エネタイヤ用改質剤）製造設備

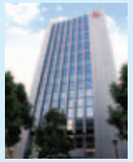
2001年
「株式会社ジェイ・エム・アール」を設立

蛍光管リサイクルプラントでの作業風景

2002年
蝶理ケミカル株式会社を子会社化し、社名を「ダイソーケミカル株式会社」とする

2005年
「大曹化工貿易（上海）有限公司」を設立

2006年
・上海事務所を開設
・「DSウェルフーズ株式会社」、「DAISO Fine Chem USA, Inc.」を設立
・本社ビルを建設



2008年
・「DAISO Fine Chem GmbH」、「DSロジスティクス株式会社」を設立
・「サンヨーファイン株式会社」の全株式を取得

サンヨーファイン 松山工場

2010年
・「株式会社食品バイオ研究センター」の全株式を取得
・サンヨーファイン株式会社が株式会社食品バイオ研究センターを合併

2012年
・旭化成ケミカルズ株式会社との合弁事業を解消し、岡山化成株式会社を完全子会社化
・「株式会社インペックス」の全株式を取得

2014年
ダップ樹脂が「グローバルニッチトップ（GNT）企業100選」に選定

表彰状

2015年10月1日
新社名
株式会社 大阪ソーダ
100周年を機に、創業当時の開拓者精神をもって、独創的なものづくりを推進するため、株式会社大阪ソーダに社名変更

連結財務諸表

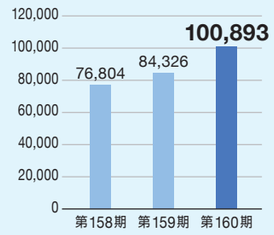
連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計期末 (平成26年3月31日現在)	当連結会計期末 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	44,932	58,450
固定資産	39,394	42,443
有形固定資産	22,889	20,586
無形固定資産	1,278	1,159
投資その他の資産	15,226	20,697
資産合計	84,326	100,893
負債の部		
流動負債	30,406	32,258
固定負債	12,304	20,930
負債合計	42,710	53,189
純資産の部		
株主資本	37,971	40,657
その他の包括利益累計額	3,629	7,047
新株予約権	14	—
純資産合計	41,615	47,704
負債純資産合計	84,326	100,893

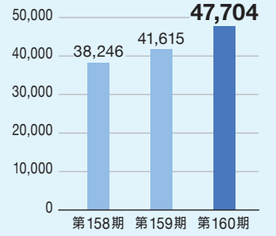
総資産

(単位:百万円)



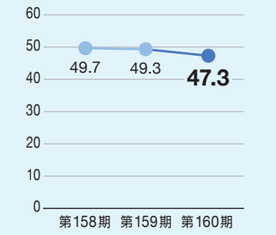
純資産

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



連結財務諸表

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計期間 (自　平成25年4月1日 至　平成26年3月31日)	当連結会計期間 (自　平成26年4月1日 至　平成27年3月31日)
売上高	91,621	101,365
売上原価	76,993	85,642
売上総利益	14,627	15,723
販売費及び一般管理費	9,876	10,550
営業利益	4,751	5,172
営業外収益	681	794
営業外費用	191	220
経常利益	5,241	5,747
特別利益	909	1,282
特別損失	1,400	1,620
税金等調整前当期純利益	4,749	5,409
法人税、住民税及び事業税	1,866	1,712
法人税等調整額	△146	247
当期純利益	3,029	3,450

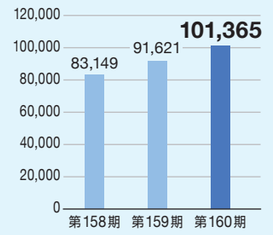
連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科　目	前連結会計期間 (自　平成25年4月1日 至　平成26年3月31日)	当連結会計期間 (自　平成26年4月1日 至　平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,177	7,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,336	△1,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,233	5,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	188	260
現金及び現金同等物の増減額	2,262	11,822
現金及び現金同等物の期首残高	5,934	8,197
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	75
現金及び現金同等物の期末残高	8,197	20,095

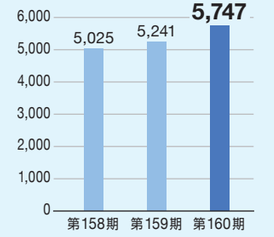
売上高

(単位:百万円)



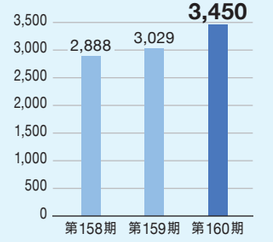
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



株式情報(平成27年3月31日)

株式の状況

発行可能株式総数 ---------- 300,000,000株
発行済株式の総数 ---------- 111,771,671株
株主数 ---------- 6,281名

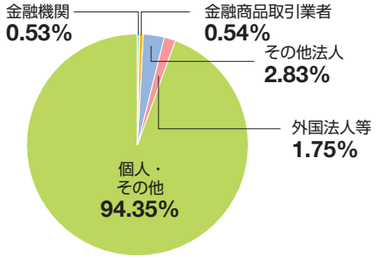
大株主一覧(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,559	5.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,384	4.16
株式会社福岡銀行	4,113	3.90
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,842	3.64
株式会社伊予銀行	3,744	3.55
帝人株式会社	3,393	3.22
株式会社みずほ銀行	3,348	3.17
日本生命保険相互会社	3,188	3.02
旭化成ケミカルズ株式会社	2,933	2.78
ダイソー協栄会	2,814	2.67

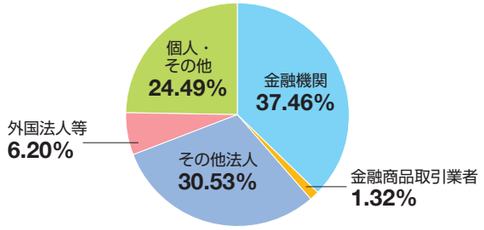
(注)出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(6,411,660株)を控除して計算しております。

株主分布状況

株主数比率

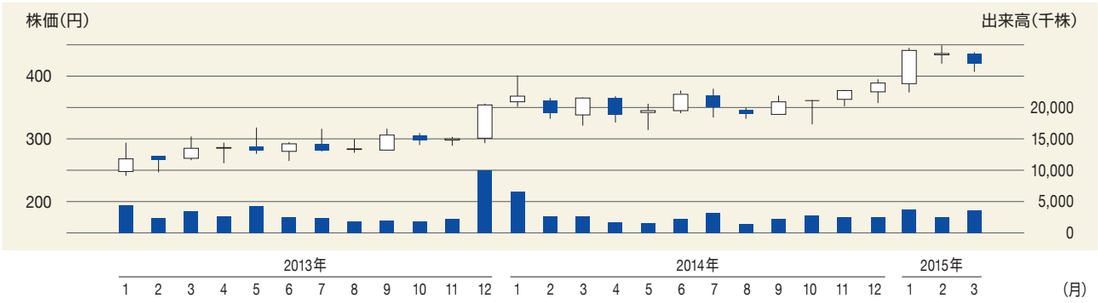


株式数比率



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.74%)が含まれております。

株価および出来高の推移



※東証と大証の統合にともない、2013年7月12日までは大証における株価および出来高、7月16日以降は東証における株価および出来高を採用しております。

会社概要(平成27年3月31日)

社　　名 ---------- ダイソー株式会社
DAISO CO.,LTD.
U　R　L ---------- http://www.daiso.co.jp/
創　　立 ---------- 1915年(大正4年)10月26日
資　本　金 ---------- 10,882百万円
連結従業員数 ---------- 811名

子会社等の状況

国内

会社名	主要な事業内容
ダイソーケミカル㈱	化学製品の販売
ダイソーエンジニアリング㈱	電極の製造販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン㈱	医薬品原薬・中間体の製造・販売
㈱インペックス	化学製品の販売
㈱ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス㈱	化学製品の運送取扱い
岡山化成㈱	化学製品の製造
DSウェルフーズ㈱	健康食品の製造、加工販売

海外

会社名	主要な事業内容
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO Fine Chem USA, Inc.	シリカゲルの販売、カラムの製造販売
DAISO Fine Chem GmbH	シリカゲル、医薬品原薬・中間体の販売
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入

役員(平成27年6月26日)

[取締役・監査役]

代表取締役 社長執行役員	佐藤　存
取締役 常務執行役員	寺田健志
取締役 上席執行役員	堀　登
取締役 上席執行役員	赤松伸一
取締役(社外)	福島　功
取締役(社外)	二村文友
常勤監査役	瀬川恭史
常勤監査役(社外)	谷口隆治
監査役(社外)	森　真二

[執行役員]

執行役員	高野早人
執行役員	川端一弥
執行役員	中島与志明
執行役員	小西淳夫
執行役員	門屋純一
執行役員	馬場一郎
執行役員	古川喜朗
執行役員	西本光伸
執行役員	松本　敏
執行役員	森　裕治郎
執行役員	雜賀哲行

事業所等の状況(平成27年3月31日)

国内

●本社
大阪市西区阿波座1丁目
12番18号
☎(06) 6110-1560

●東京支社
東京都千代田区一ツ橋1丁目1番1号
☎(03) 6701-3520

●小倉工場
北九州市小倉北区高見台8番1号
☎(093) 561-6681

●九州営業所
北九州市小倉北区高見台8番1号
☎(093) 561-6684

●松山工場
松山市北吉田町77番地
☎(089) 972-0131

●水島工場
倉敷市児島塩生字新浜2767番13号
☎(086) 475-0331

●中四国営業所
倉敷市児島塩生2767番29号
☎(086)475-1590

●研究センター
尼崎市大高洲町9番地
☎(06) 6409-0791

●尼崎工場
尼崎市大高洲町11番地
☎(06) 6409-1581

海外

●デュッセルドルフ事務所
Immermannstrasse 13
Düsseldorf, Germany
☎49-211-353146

●タイ事務所
Harindhorn Tower,
54 North Sathorn Road,
Bangrak, Bangkok,Thailand
☎66-2-632-1911

●上海事務所
中華人民共和国上海市長寧区
遵義路100号(虹橋上海城)
☎86-21-6237-1651

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120―094―777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.daiso.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(1,000株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

●最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス **http://www.daiso.co.jp/**

トップページ